

# ユースボランティア2016 開催報告

## ☀️市民活動のアツイ心が青少年に伝わった夏☀️

今年で13回目になるユースボランティアは、主に青少年が平塚市内の多種多様な市民活動に体験参加することで、さまざまな世代の人たちと知り合い、自分の力が社会に役立つことや感謝される喜びを実感することを目的としています。

7月17日から9月30日までの間に中学生15名、高校生28名、大学生7名、社会人5名の計55名が参加、27の市民活動団体が青少年の受入れに協力してくださいました。



7月16日オリエンテーション



【平塚をみがく会】

参加者からは、「子ども達が笑顔で話しかけてくれて嬉しかった」「手伝いされた人もした人も幸せなんてwin-winな関係ですごく素敵だと思った」等の感想や「他の人の役に立てたことがうれしかった」「お客さんに『ありがとう』と言われて感激した」「普段知ることの出来ない仕事の裏側を知ることができた。色々な世代の方と広く交流できた」と、いずれも活動体験が自身の成長につながった内容の感想を寄せてくれました。

### 受 入 れ 団 体 紹 介

- ・認定NPO法人 WE21 ジャパンひらつか
- ・大野小学校区放課後児童クラブ
- ・風の子くらぶ（NPO法人ありんこ）
- ・神奈川県電動車椅子サッカー協会・湘南イーグルス
- ・金目川水系流域ネットワーク
- ・金田花の会
- ・子育て支援 チャイルドプラス
- ・子供と親の環境教室「地球っ子ひろば」
- ・ごみを活かす会
- ・相模川湘南地域協議会
- ・湘南の森
- ・湘南ひらつかビーチ共同事業体
- ・湘南ベルマーレ ゲームボランティア
- ・水交社の保存と利用をすすめる会
- ・社会福祉法人 花
- ・花水川ボランティアグループ
- ・馬入花畑の会
- ・馬入水辺の楽校の会
- ・ひらつか環境ファンクラブ
- ・平塚パトロール
- ・平塚をみがく会
- ・福島親子とともに・平塚
- ・まちづくり工房「しお風」
- ・木曜ランナーズ
- ・やわた子ども村
- ・ゆくりあ学習塾
- ・NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ きしゃポップ



【まちづくり工房「しお風」】

本年度も猛暑の中、青少年受入れのために、受入れ団体の皆さまには入念な事前準備をしていただきました。おかげさまで、怪我や大きなトラブルもなく、無事終了することができました。また、オリエンテーションにつきましても、団体からの説明を2分スピーチからプロモーションビデオを使って行う形式としたため、プロモーションビデオ作りにご協力いただきました。団体の皆さまには深く感謝いたします。



【やわた子ども村】



【花水川ボランティアグループ】



# 参加者の感想



【風の子くらぶ(NPO 法人ありんこ)】

障がいを持つ子ども達と触れ合うのは初めてで緊張したが、無邪気な笑顔に励まされ自然に会話でき嬉しかった。



【子育て支援 チャイルドプラス】

ムーブメントに興味をわき参加。子ども達がどうしたら楽しめるのか考える事が大切と感じる事ができた。将来に活かしていきたいと思った。



【湘南ベルマーレ ゲームボランティア】

運営の仕事は、観戦者に身近な所で行っていて驚いた。ゴミの分別作業を通じて、これからはゴミの管理に注意し、ルールを守ることを意識できた。



【福島の親子とともに・平塚】

被災された方々が夏休みを利用して思う存分遊べる今回のような機会は子どもたちにとってとても良いと思った。有意義な時間を過ごすことができた。



【ゆくりあ学習塾】

子ども達に寄り添い、ペースに合わせてながら学習を進めている様子を見てスタッフの皆さんの温かさを感じた。自身の知見を広めることができた。



【認定 NPO 法人 WE21 ジャパンひらつか】

団体の方々に笑顔で優しく接していただき、接客や配列に心をこめさせていただいた。大変有意義な一日でした。ありがとうございました。



【水交社の保存と利用をすすめる会】

普段はなかなかできない経験をすることができ、良い学習になった。機会があったら、ボランティア、イベントにも参加してみたい。



【平塚パトロール】

実際に現状を見る事で色々な視点を学べる。他の人が好んでやらないような活動を進んで行う姿に感動した。



【湘南の森】

アジサイの切り方や何故切るのかをやさしく教えていただき、来年アジサイのある道を通るのが楽しみです。

本年度は毎年減少傾向にある参加者を増やすべく、市内の全中学生にチラシ（7000枚）を配布する、神奈中バスに吊り下げ広告をお願いする等、広報に力を入れた結果、中学生が昨年度4名から15名へと大幅に増加。一方で、高校生、大学生の参加が減少し、全体では昨年度と比較して2名の微減となりました。大学生に対しては、一過性のボランティアでなくインターンとして長期的に受入れたいと希望する団体もありました。

このような中、平塚学園高校インターアクト部より15名の生徒の皆さまにご参加いただくことができました。ご協力をいただきました学校関係、企業、団体の皆さま、ありがとうございました。